

## 目標達成計画

作成日: 平成 2010年 6月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ADL中心のケアプランであり、介護方法などに重点が置かれており、利用者の生きがいなどが反映されていない。	入居者の希望や生きがい、又生活歴などを反映させQOLの部分を充実させるように検討を行いたい。	どのような項目を増やして行くのか、センター方式ケアプランの様式などを参考に、話し合いを重ね、新しいケアプランの作成を行いたい。	6ヶ月
2	23	現フェイスシート書式には、利用者主体の生活歴や馴染みの暮らし方などの記載欄がないため、入居者の意向が把握しにくいのではないかと。	今までの暮らし方や意向を可能な限りお聞きし本人や家族の思いや意向をより詳しく把握し、日常の支援に生かせるようにしたい。	書式の見直しを行う、話し合いを重ね、思いや意向がより細かく把握できるようなフェイスシートの作成を行う。	6ヶ月
3	49	外出(散歩)を希望されない、方たちの日常的な外出支援が、入居者の重度化により少なくなっている。危険や身体的負担を考えすぎ外出の機会を失っているように思う。	外気に触れる機会を増やし取り組みを行う。	大掛かりな外出を考えず(職員の意識改革)季節も良くなるので、気軽に出来る、庭の水撒きやティータイムなど外気浴程度の時間を作るように工夫する。	直ちに
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。